



OSATL 発足！

平成 25 年度の新学術領域研究に、「原子層科学(略称原子層)」が採択され、7月よりスタートいたしました。採択にあたり、多くの皆様のご協力をいただきました。ここに感謝申し上げます。本領域の英語名は、Science of Atomic Layers(SATL, サトウル)です。この学術領域研究は、主にグラフェン、BN、MoS₂ からなる単原子層およびそれらを組み合わせた複合原子層の合成、物性、応用、理論を核とした融合領域の科学を推進いたします。

グラフェン科学を取り巻く世界の情勢は、巨大プロジェクトが EU や米国を中心としてすでに動いているなか、日本は横断プロジェクトがこの新学術が発足するまで動いていませんでした。SATL 発足を機に、国内の横の連携を強め、技術講習会や、研究会、公開シンポジウムを積極的に開き、科研費の適正な執行のもと、日本における原子層科学の推進に邁進いたします。

これから公募研究の公募など、大きな動きがあります。Web ページ、FaceBook なども日本語・英語で公開(下記参照)していますので、皆様のご意見をたまわりたいと思います。

このニュースレターは、電子版のみで公開し、領域 HP 他、FaceBook、メンバーの所属する学会のメーリングリストにご許可をいただいて配布します。ご理解くださいませ。今後年2回(号外もあり)のペースで発行してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

領域代表 東北大学理学研究科
物理学専攻 齋藤 理一郎
(e-mail: rsaito@flex.phys.tohoku.ac.jp)



写真 1 領域代表挨拶

**OWeb ページ、Facebook ページ公開！
領域 HP**

JPN:<http://flex.phys.tohoku.ac.jp/gensisou/>
ENG:<http://flex.phys.tohoku.ac.jp/satl/index.html>

FaceBook (閲覧投稿は個人の登録が必要)

JPN:<https://www.facebook.com/gensisou>
ENG:<https://www.facebook.com/pages/SATL/198930866932885>

ODEザインロゴの決定！

領域ロゴが下記の通り、採用されました。学会発表等々での Power Point ファイル、各種公文書等で、ご活用下さい。領域 HP からダウンロードできます。



デザイン: 越野幹人(東北大)、守谷頼(東大)

Oイベント報告

SATL キックオフミーティングを開催しました。
日時: 2013 年 9 月 2 日(月)午後 1 時より~3 日(火)正午まで

場所:東北大学 片平キャンパス東北大学原子分子材料科学高等研究機構(AIMR 本館)

総勢 30 名のメンバーが東北大に集まりました。最初に領域代表からプロジェクトの意図、領域の方針等について説明がありました。各研究班から「これまでやってきたことではなく、これから何をするか」についての発表があり、今後の研究展開について議論しました。特に、領域内での共同研究を促進するため、全体会議に加えて、パネルディスカッション、他班からの発表を含む班会議等を行いました。懇親会では、情報交換の場として活用いただきました。原子層領域の今後の進展にご期待ください!



写真 2 SATL 全体写真
(キックオフミーティング 2013.9.2 東北大 WPI)

○お知らせ

・公募研究の募集

文部科学省から公募要領が公開されました。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1324967.htm

採択目安件数

年度当たりの応募額 300 万円 12 件、応募額 200 万円を上限とする研究を 15 件程度を予定しています。この応募では、領域の横のつながりを強化するため、公募によってどのような共同研究が可能かという提案をお願いしています。詳細は、領域 HP をご覧ください。

○今後の予定

第 2 回 SATL 全体会議

日時:2013 年 2 月 18-19 日

場所:名古屋大学

詳細は後日 HP に掲載します。

○最後に....ニュースレター事務局から

SATL 発足に伴い、情報発信の場としてニュースレターを年 2 回程度のペースで発行することになりました。研究内容だけでなく、領域における人のつながりが見える形で進めていきたいと思っています。お楽しみに!

編集メンバー: 長汐晃輔(応用班・東大)、北浦良(合成班・名大)、依光英樹(合成班・京大)、越野幹人(理論班・東北大)、山本倫久(物性班・東大)、劉崢(物性班・AIST)、塚越一仁(応用班・NIMS)

ニュースレターの充実のため皆様からのご意見をお聞かせください。

長汐:nagashio@material.t.u-tokyo.ac.jp

発行・企画編集: 文科省 科研費 新学術領域「原子層科学」総括班・事務局

URL: <http://flex.phys.tohoku.ac.jp/gensisou/>

連絡先: 編集責任者 長汐晃輔(東京大学) nagashio@material.t.u-tokyo.ac.jp